

令和2年度第2回産業衛生技術部会拡大幹事会 議事録(案)

日時: 令和2年11月17日(火)10:00~12:00

場所: (新型コロナウイルス感染防止対策のため、オンライン開催)

出席者: 飯田裕貴子, 圓藤陽子, 落合孝則, 河合直樹, 久保田裕仁, 齊藤宏之, 田口豊郁, 竹内靖人, 城憲秀, 田村三樹夫, 對木博一, 津田洋子, 藤間俊彦, 中原浩彦, 中村修, 橋本晴男, 浜井盟子, 原邦夫, 保利一, 宮内博幸, 森洋, 森本寛訓, 山内武紀, 山野優子 (敬称略, 五十音順)

議題

1. 令和3~4年度の新体制について
2. 令和2年度の活動報告
3. 令和3年度の活動計画
4. 会計報告ならびに予算案について
5. 奨励賞候補について
6. その他

1. 令和3~4年度の新体制について

来年度の部会体制について、以下の討議が行われた。

・

(部会長)

- ・ 部会長は正式には、総会で決定されるが、部会として次期部会長について議論した。
- ・ 今回は、自薦・他薦による候補者募集及び、選挙による透明なプロセスで実施することとした。
- ・ 他薦による3名の候補者のうち、山野先生は関東技術部会長ということで辞退されたため、候補者は橋本先生、宮内先生の両名となり、幹事による投票を実施した。橋本先生7票、宮内先生4票で、部会として橋本先生を次期部会長とすることで、意思統一した。

(事務局、幹事会、委員会)

- ・ 添付資料1を最終案とし、新委員の先生に依頼し了承をとることになった。
- ・ 来年3月までに最終的に確定する。

2. 令和2年度の活動報告

本年度の活動報告が行われた。

- ・ 第30回全国協議会は、音声収録も終了し、オンデマンドで視聴できる状況になっていることが、宮内委員会ら報告された。また、11/28の懇親会はライブで行われ、「各部会長と話そう」企画も実施される。部会長より、積極的な参加要請があった。
- ・ 総会は、今年は見送ることとし、次回の94回学会にて開催する。他の部会も同様の対応を取っており、学会統一の対応である。
- ・ 拡大幹事会や、企画運営委員会は、オンラインベースで開催された。本年度は、12月に企画運営委員会を企画している。

3. 令和3年度の活動計画

来年度の活動計画について、以下の討議が行われた。

(第94回学会(松本))

- ・ ハイブリッドでの開催となることが紹介された。
- ・ 技術部会の以下の企画について、説明が行われ、了解された。
 - (1) 産業衛生技術シンポジウム: 環境中のウイルス飛散拡散予測とマスクの効果(仮題)
 - (2) 専門研修会: 感染防止のための室内換気/その予測・評価(仮題)

(第31回協議会(津))

- ・ 企画案については、現時点で未定である。委員会では企画案は出なかったため、後日、委員から企画案があれば、メールで事務局に送付することとした。

(総会)

- ・ 第94回学会中に開催予定であるが、新型コロナウイルス対策で、現地参加人数を絞る可能性があるため、その場合はどのように開催すべきかを検討することを確認した。

(拡大幹事会)

- ・ 学会ならびに全国協議会に合わせて拡大幹事会を開催する予定であるが、本年度のように、オンラインでの実施のオプションも検討しておくことを確認した。

(企画運営委員会)

- ・ 年3回程度開催することを確認した。開催方法は、オンラインまたはハイブリッドを検討する。

4. 会計報告ならびに予算案について

会計担当が欠席であり、会計報告および予算案について議論ができなかったため、別途メールで資料を送付し、承認を取ることにした。予算案は、例年通りの方針で作成することが紹介された。

5. 奨励賞候補について

- ・ 推薦者を、12月末までに事務局に連絡する。
- ・ 推薦状のフォームがあるので、事務局から委員に配信する。
- ・

6. その他

圓藤先生から退任のあいさつがあった。また、本日欠席の土屋先生からの退任の挨拶が紹介された。

以上。